

## 2 業務概要

## 2・1 微生物科

### 2・1・1 調査研究

「ウイルス感染症の疫学調査」を本年度も継続して行った。検体の採取定点は例年変わらず、無菌性髄膜炎は3定点(鳥取市、倉吉市、米子市各1総合病院小児科)、その他の疾病については6定点(鳥取市、倉吉市、米子市各2小児医療機関)とした。昭和60年1～12月では1,670名の患者から検体が採取され、これらの疾病の原因ウイルスの検索とともに、ウイルス感染症の流行と、その実態把握を目的に調査した。なお、厚生省「感染症サーベイランス事業」における検査定点は、すべてこの検体採取定点に包含されているので、得られた情報はそのままサーベイランス事業の検査情報として活用されている。(調査研究事業報告 P.17)

「下痢症原因菌調査」も前年度と同じく、鳥取市街地河川水を5定点から、下水を1定点から各々月1回採取して、下痢症原因菌による汚染状況を調査した。(調査研究事業報告 P.21)

厚生省委託による伝染病流行予測調査事業は、「インフルエンザ感染源調査」と「日本脳炎感染源調査」の2調査について実施した。(資料 P.71)

また、本年度は鳥取県健康対策協議会公衆衛生活動専門委員会でとりあげた「輸血歴とウイルス感染の関係に関する調査」の技術的協力を行った。

### 2・1・2 試験検査

行政委託検査としては、食中毒検査(資料 P.72)、畜水産物中の残留抗生物質検査(資料 P.73)、収去食品細菌検査、保健所委託細菌分離同定検査があり、水質、環境、公害関係の水の細菌学的検査については当科が担当して行った。

窓口受託検査の主なものを挙げると、風疹(資料 P.73)をはじめとする各種ウイルスの抗体検査、梅毒血清検査(資料 P.74)、HBs抗原検査(資料 P.75)、各種病原菌の分離同定検査、医薬材料の無菌試験と、飲料水、使用水、排水などの細菌検査である。

## 2・2 食品化学科

### 2・2・1 調査研究

昨年度に引き続き「畜産物中の有機塩素系農薬残留量実態調査」を実施した。(調査研究事業報告 P.24) また、環境庁からの委託事業として「生物指標環境汚染測定調査」を行った。

### 2・2・2 試験検査

行政委託試験として、昭和60年度は、家庭用品試験、食品衛生理化学試験、PCB及び水銀に関する試験を実施するとともに、食品衛生試験として食品等の残留農薬試験、牛乳の有機塩素系農薬試験及び畜水産物中の残留物質試験を行った。

そのほか、窓口受託試験として、食品の残留農薬試験、薬事試験及び栄養成分試験を行った。

(資料 P.75)

行政委託及び窓口受託試験とともに基準値あるいは規制値を超過するものはなかった。

## 2・3 水質調査科

### 2・3・1 調査研究

「湖沼の汚濁機構の調査」を、調査研究報文「湖山池、東郷池、中海の富栄養化現象について」としてとりまとめた。

植物プランクトンの増殖は湖山池、東郷池では水温や光強度の影響を受け夏季に盛んで、冬季に衰えるが、中海では余り影響を受けていないこと。湖沼の植物プランクトンの増殖による富栄養化現象は湖山池が盛んで、次いで東郷池、中海st.4(米子湾中央部)で中海st.3(米子市葭津地先)ではほとんど起っていない。このためCODの外部汚濁は中海st.4、東郷池、湖山池の順であるが、内部生産は湖山池、東郷池、中海st.4の順となっている。中海st.3の外部汚濁は湖山池、東郷池と余り変わらないが富栄養化現象がほとんど起っていないため内部生産は極端に低値であることなどが分った。(調査研究事業報告 P.26)

また、環境庁の委託事業として中海の湖沼水質総量規制検討調査を実施した。

### 2・3・2 試験検査

水質汚濁防止法第16条に基づき、公共用水域(湖山池、東郷池、多鯨ヶ池、中海及び美保湾)の水質常時監視を実施することと共に、千代川ほか13河川のP C B分析、日本海沿岸海域の健康項目、油分の分析を行った。

このほか行政委託調査として中海水質監視強化調査、境港市竹内地区埋立事業に伴う美保湾の水質調査、佐治川ダムと百谷ダムの水質調査、鳥取・田後・境港の港湾、網代・東・岩戸・泊・境の漁港の浚渫に伴う水質と底質検査を実施した。

窓口受託検査は企業局の八東川、春米ダム、小鹿ダムの水質検査、運輸省境港工事事務所および一般企業などの浚渫に伴う底質の検査、湖沼水などの水質検査を実施した。

## 2・4 水質環境科

### 2・4・1 調査研究

昭和58年度から3ヶ年計画で行っている「小規模給水施設等水道未設置地区の水質調査」を県西部地区を対象に実施した。(調査研究事業報告 P.44)

また、環境庁委託による「窒素・リン暫定基準適用業種指導マニュアル策定調査」を中海周辺の水産加工業を対象に調査を行った。また、同庁委託の「トリクロロニチレン等汚染状態点検調査」を企業排水、河川水について行った。

### 2・4・2 試験検査

昨年度に続き「簡易処理施設による家庭雑排水処理に係る調査」、「温泉実態調査」、ほか一般依頼による排水、産業廃棄物、飲用水、利用水、温泉の検査を行った。(資料 P.96)

### 2・4・3 廃液処理

県東、中部地区の試験研究機関、病院及び高校の有害物質含有試験廃液7,500ℓを処理した。

## 2・5 大気騒音科

### 2・5・1 調査研究

「固定発生源ばいじん中の重金属成分について(2)」において、前年度の検討結果で得た成分分析の前処理方法を用いて、都市ごみ焼却場を対象として、試料のサンプリング方法及びばいじん、フライアッシュ中の重金属について調査した。(調査研究事業報告 P.50)

また、「悪臭発生施設における臭気濃度実態調査(1)」については、官能試験法(サイクロオルファクター)による三点比較臭気濃度を測定し、パネル選定及び環境臭気の採取方法等について検討した。(調査研究事業報告 P.55)

その他、環境庁の事業による「昭和60年度環境測定分析統一精査管理調査」に参加し、ばいじん(EPダスト)の重金属分析を行った。

また、科学技術庁委託事業として「放射能測定調査」を行った。

### 2・5・2 試験検査

大気汚染防止関連業務として、大気汚染監視局(衛研局)の運用および煙道排ガス測定と事業場の燃料重油中の硫黄分を分析した。(資料 P.102)

自動車公害調査は、鳥取市の街頭における一酸化炭素濃度の測定を毎月1回と、鳥取、倉吉、米子、境港の四市における実態調査を例年通り実施した。(資料 P.107)

悪臭調査は、県の計画に基づき、悪臭発生事業場の調査及び市町村の委託による検査を実施した。(資料 P.110)

その他、鳥取空港整備にともなう旧鳥取大学演習林伐採後の影響調査のうち空中塩分量、針葉付着塩分の分析を行った。

## 2・6 研修指導

期 日	名 称 ・ 課 題	担 当 者	場 所
60. 5. 7～10	県立歯科衛生専門学校臨床検査実習	寺 谷 科 長	鳥取市 衛生研究所
60. 5. 14～17	〃	〃	〃
60. 7. 3	鳥取大学医学部教養課程施設見学	〃	〃
60. 7. 10	〃	〃	〃

期 日	名 称 ・ 課 題	担 当 者	場 所
60. 10. 30	鳥取大学医学部教養課程施設見学	寺 谷 科 長	鳥 取 市 衛 生 研 究 所
61. 2. 10	食品衛生事務担当者打合せ会議 ・ 過去10年間のデータからみた食中毒調査方法について ・ 加工食品と食品添加物	寺 谷 科 長 藤 井 研 究 員	鳥 取 市 ( 県 庁 )
61. 2. 27	鳥取県立社会教育施設給食協会調理員研修会 ・ 食品衛生と管理について	寺 谷 科 長	鳥 取 市
61. 2. 28 ~ 3. 1	昭和60年度保健所、衛生研究所試験検査技術研修会 ・ カンピロバクターの検査	寺 谷 科 長	倉 吉 市

## 2・7 会議・研修会・学会参加

期 日	名 称 ・ 課 題	参 加 者	場 所
毎 月 1 回	感染症サーベランス解析委員会	深 澤 所 長 寺 谷 科 長 石 田 研 究 員	鳥取市と米子市(隔月)
60. 4. 10	昭和60年度食品獣疫関係事業計画説明会	寺 谷 科 長 田 中 (球) 研 究 員	倉 吉 市
60. 4. 12	保健所、衛生研究所総務課長及び総務課長補佐並びに食肉衛生検査所次長会議	片 山 課 長 補 佐	東 郷 町
60. 4. 22	B型肝炎予防対策協議会研修会	寺 谷 科 長 田 中 (球) 研 究 員 井 上 研 究 員 石 田 研 究 員 佐 々 木 研 究 員	米 子 市
60. 4. 24	鳥取県健康対策協議会公衆衛生活動専門委員会小委員会	寺 谷 科 長 石 田 研 究 員	鳥 取 市
60. 4. 25 ~ 26	昭和60年度全国公害研協議会中国・四国支部会議	深 澤 所 長 佐 藤 科 長	徳 島 市
60. 5. 9 ~ 10	第39回地方衛生研究所全国協議会中四国支部会議	深 澤 所 長 助 飛 羅 次 長 寺 谷 科 長	岡 山 市

期	日	名 称	課 題	参 加 者	場 所
60.	5. 24	国体防疫業務検査担当者会議		浅井 科 長 平野 科 長 寺谷 科 長 田中(球)研究員 井上 研究員 石田 研究員 佐々木 研究員	衛生研究所
60.	5. 27	昭和60年度放射能測定調査委託に関する打合せ		佐藤 科 長 片山 課長補佐	東 京 都
60.	6. 4	昭和60年度化学物質環境汚染実態調査打合せ会議		林田 研究員	東 京 都
60.	6. 6～7	衛生微生物技術協議会第6回研究会		寺谷 科 長	大 阪 市
60.	6. 12～13	鳥取県会計事務研究会総会		片山 課長補佐 右近主任(主事)	米 子 市
60.	6. 21～22	昭和60年度全国地方衛生研究所長会及び地方衛生研究所全国協議会総会		深澤 所 長 助飛 羅 次 長	東 京 都
60.	6. 28	地方衛生研究所試験担当者講習会(薬事)		浅井 科 長	東 京 都
60.	6. 28～29	地方公共団体公害試験研究機関等所長会議及び第14回全国公害研協議会総会		深澤 所 長	東 京 都
60.	7. 8～26	水質土壌分析研修(環境庁)		畦崎 研 究 員	埼 玉 県
60.	7. 11	第28回鳥取県公衆衛生学会 ・HBs抗原陽性者に対する検討 ・鳥取県における手足口病の原因ウイルス ・湖沼の汚濁機構の解折について(その5) ----湖沼の内部生産について----		深澤 所 長 田中(球)研究員 石田 研 究 員 安田 科 長	鳥 取 市
60.	7. 12	B型肝炎対策協議会		深澤 所 長 寺谷 科 長	倉 吉 市
60.	7. 30～31	アスベストモニタリング講習会		佐藤 科 長 宮原 研 究 員	川 崎 市
60.	8. 28	鳥取県健康対策協議会公衆衛生活動専門委員会小委員会		寺谷 科 長 石田 研 究 員	鳥 取 市
60.	8. 28～29	中国地区衛生公害研究所長会議及び第31回中国地区公衆衛生学会		深澤 所 長	広 島 市
60.	9. 5～6	第18回全国保健衛生大会		寺谷 課 長	長 崎 市

期 日	名 称 ・ 課 題	参 加 者	場 所
60. 9. 18	昭和60年度化学物質環境汚染実態調査西日本ブロック別打合せ会議	林田 研究員 藤井 研究員	岡 山 市
60. 10. 1～2	全国公害研協議会中国・四国支部第12回大気部会	宮原 研究員	松 江 市
60. 10. 8～9	第22回全国衛生化学技術協議会年会	南條 研究員	名 古 屋 市
60. 10. 15～16	第36回地方衛生研究所全国協議会及び次長庶務課長会議並びに日本公衆衛生学会	深澤 所長 佐々木 次長	富 山 市
60. 10. 24	全国公害研協議会中国・四国支部第12回水質部会	安田 科長	松 山 市
60. 10. 26	日本薬学会衛生化学調査委員会中国・四国部会研修会並びに委員会	浅井 科長	徳 島 市
60. 11. 11	会計事務担当者研修会	佐々木 次長 右近主任(主事)	東 郷 町
60. 11. 15～16	第55回日本感染症学会西日本地方総会 ・無菌性髄膜炎患児の髄液からのウイルス分離 ・M. pneumoniaeによる脳炎・髄膜炎患者の髄液抗体測定	石田 研究員 佐々木 研究員	長 崎 市
60. 11. 18～20	昭和60年度食品化学講習会	藤井 研究員	東 京 都
60. 12. 3	昭和60年度食品衛生監視員研修会	寺谷 科長 田中(球)研究員 井上 研究員 石田 研究員 佐々木 研究員	鳥 取 市
60. 12. 4	全国公害研協議会秋期総会	深澤 所長	東 京 都
60. 12. 4	第27回環境放射能調査研究成果発表会	佐藤 科長 稲村 研究員	東 京 都
60. 12. 6	第12回環境保全公害防止研究発表会 ・ 中海の水質構造と栄養塩類の挙動について	田中(賢)研究員	東 京 都
61. 2. 13	昭和60年度環境測定分析統一精度管理測定結果検討会	稲村 研究員	岡 山 市
61. 2. 14	昭和60年度予防接種・防疫業務担当者研修会	田中(球)研究員 石田 研究員	東 郷 町
61. 2. 14～ 3. 15	国立公衆衛生院特別課程「細菌コース」	佐々木 研究員	東 京 都
61. 2. 26～28	第3回環境科学セミナー	林田 研究員 藤井 研究員	所 沢 市 及び東京都

期 日	名 称 ・ 課 題	参 加 者	場 所
61. 2. 28 ~ 3. 1	昭和60年度保健所、衛生研究所試験検査技術研修会	寺 谷 科 長 佐 藤 科 長 田中(球)研究員 南 条 研 究 員 山 内 研 究 員 田中(長)研究員 哇 崎 研 究 員 稻 村 研 究 員	倉 吉 市
61. 3. 3	B型肝炎母子感染防止対策事業打合せ会	田中(球)研究員 井 上 研 究 員	鳥 取 市
61. 3. 8	JIS-Z-8808改正に関する説明会	稻 村 研 究 員	大 阪 市
61. 3. 11	全国家庭用品安全対策係長会議	浅 井 科 長	東 京 都
61. 3. 11 ~ 13	第20回水質汚濁学会	山 内 研 究 員	東 京 都



